

マルメ研修を終えて

伊藤デンタルクリニック 歯科医師 佐野喬祐

今回のスウェーデン・マルメ研修でダン・エリクソン先生をはじめ、マルメ大学講師の方々が何を一番私たちに伝えたかったのか、私は住み慣れた日本への帰路の途中ふと考えていた。短期間に学んだことが多く、頭の中の小さな脳がシステムエラーを起こす寸前の状態で微かな果汁を絞り出すかのようなようだった。

カリエスを侵襲するタイミング、糖の摂取、サリバテスト、リスクアセスメント、PBL、キャビテーションシステム etc...
学んだことをあげるときりがない。確かにこれらは歯科医師として学ぶべきことであるし、欠かすことの出来ない重要なことではある。
しかし、今回彼らが一番伝えたかったことは、これらシステムや技術的側面ではないと感じられた。

歯科医療における哲学。フィロソフィー。熊谷崇先生が常々口にしてらっしゃるお言葉である。日本でこの言葉を何度か耳にする機会があり、自分なりに理解し心得ていた気でした。

医療の本質とは何か。私は歯科医師になりたてのころ、この疑問に苦しんでいた時に現在私が勤務させていただいている伊藤デンタルクリニックの院長である伊藤先生と出会った。
私は常々、歯科医療の哲学の話聞かせていただき、理解してきたつもりであった。
しかし、今回実際にスウェーデンの最先端の予防的歯科医療に触れ、今一度考えさせられた。

言葉にするととても簡単で誰にでもすぐ習得出来そうに感じられる。歯科医療の哲学はただ勉強するだけでは得られないし、肌で様々な経験をしないとわからない奥深いものであると改めて感じさせられた。

誰のためにどのような歯科医療に従事すべきか。口腔の健康を支えるのはもちろんのこと、人として患者さんに触れ合い患者さんの豊かな生活・心の支えともなれる。
医療を司る者にとって大切なことを教えていただいたようで歯科医療の未来に心を躍らせざるを得ない。

ふと星の王子さまのある一節を思い出した。
“大切なことは目には見えない”
この表現が最適ではないだろうか。

ただ今回この研修に参加させていただき改めて感じることもあったが、日々自分が医院にて学んできたことや実践してきたことが間違っていないことに気付けたことは何よりも嬉しかった。

今回のセミナーは故ダグラス・ブラッター先生のご協力の元に開催されたものであるとお聞きし、実際にお会いしてみたかった。
しかし、彼の意思・魂を受け継いだダン・エリクソン先生をはじめとする講師の先生方のお話を拝聴し、ダグラス・ブラッター先生の想いを受け取ることが出来たと確信している。

マルメ大学の歯科医師、歯科衛生士が同じ価値観を持ち同じ方向にすすんでいることにスウェーデンの歯科医療の哲学の根深さを感じられ、日本の歯科医師・歯科衛生士も見習い、日本国民の口腔及び全身の健康増進のために誇りを持って医療に従事していくべきではないだろうか。

最後に、貴重な海外研修に参加させていただく機会を下さった熊谷崇先生をはじめ、今回の研修に携わっていただいた多くの皆様に感謝をすることはもちろんのこと、日々ご指導頂いている伊藤直人先生に改めてこの場をおかりし感謝をさせて頂きたい。